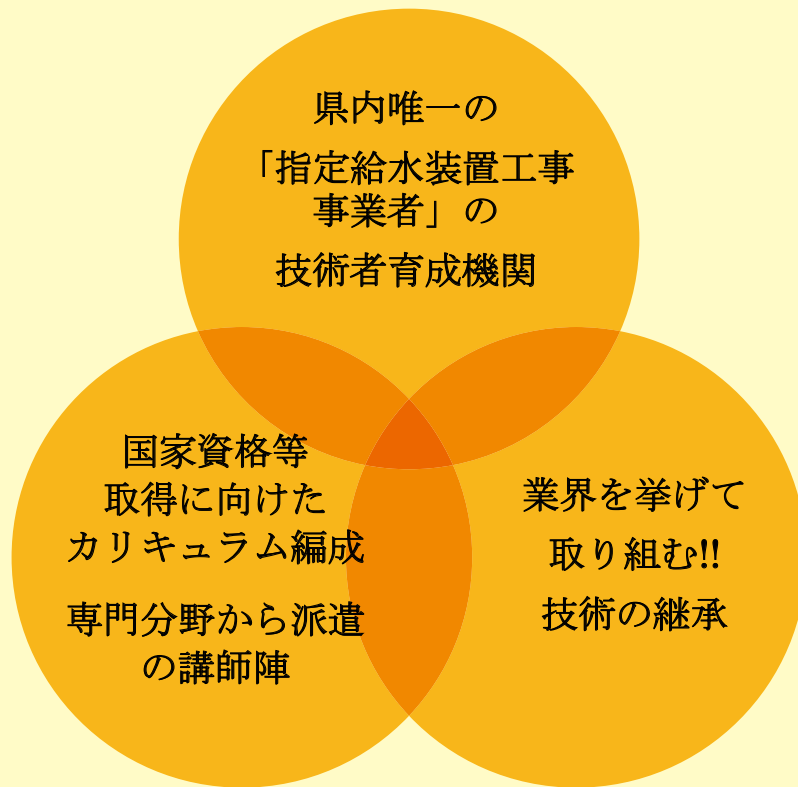


**管工事業界の技術者育成を目指す!!**

千葉県知事認定職業訓練施設

# 千葉県建築設備高等技術専門校

平成24年度 第27期生募集中



☆平成 22 年度当校国家資格合格率 ( ) 内は全国平均

1 級管工事	学科 100% (29.2%)	実地 33.3% (60.1%)
2 級管工事	学科 54.5% (50.9%)	実地 100% (37.1%)
給水装置工事主任技術者	61.1% (38.5%)	

## 取得可能な資格

★管工事施工管理技士 ★給水装置工事主任技術者 ★地山・土止め支保工作業主任者  
★職長・安全衛生責任者 ★日水協 配水管工技能者 ★下水道排水設備責任技術者  
★千葉県水道局認定 不断水穿孔技能者 ★アーク溶接 ★小型車両系建設機械  
★LPG 設備士 ☆土木施工管理技士 ★配管技能士 (技能検定)

## 業界を挙げて

### 技術の継承に取り組む!!

千葉県建築設備高等技術専門校

校長 白倉 進



本校は、職業能力開発促進法 第 24 条の規定に基づき、千葉県知事認定の県内唯一の「指定給水装置工事事業者」技術者育成機関として、昭和 60 年の開校以来 26 年間に亘り訓練を実施しており、これまでに 785 名の修了生を輩出しております。

本校の特色は、専門分野から講師を派遣して頂き、国家資格取得に向けたカリキュラム編成で訓練を実施するとともに、他機関の協力を得て、職長・安全衛生責任者等の労働安全衛生関係資格や日水協が実施している配水管工技能講習会の当校受講枠を確保しています。

また、当校の不断水穿孔訓練の修了者には、千葉県水道局の配水管工事施工の際に必要な不断水穿孔技能者としての認定を受けるなど、在学中に多くの資格や技術を習得ができるよう環境を整えております。

更には、本校修了者については職業能力開発促進法に定める「技能士補」の資格が与えられ、技能検定における 2 級建築配管の学科試験が免除されるという特典もあり、試験に合格すると、他の国家資格試験受験資格が得られ、本校を修了した後も多くの資格にチャレンジする事ができます。

このように技術の証である資格取得は就労意識の高揚につながり、所属事務所の業績拡大に大きく貢献することは間違えありません。

また、当業界を「技術保有集団」として不動の地位を確保するためにも各種の技術資格の保有は不可欠のものです。

つきましては、業界を挙げて取り組む本校の運営に事業主各位のご理解を頂き後継者並びに従業員の資格取得のために本校を積極的にご活用頂きますようお願い申し上げます。

## 技術の継承と

### 優秀な人材の育成

千葉県商工労働部長

久保 繁



我が国の安全・安心で快適な生活及び産業の発展は、管工事等を含む生活基盤・産業基盤等の社会資本整備により実現してきました。そして、それを支えてきたのは、多くの優秀な技術者の方々です。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、電気、水道、ガス等のライフラインが遮断し、我々の生活も大きな影響を受けました。県内でも、地震や液状化の影響により断水した地域が多くありましたが、管工事の技術者の方々の昼夜を徹した懸命な作業により迅速な復旧を遂げることができました。現場の先頭に立って、復旧作業にあたっていただいた管工事組合の方々には敬意を表したいと思います。また、こうした技術者の中に千葉県建築設備高等技術専門校で訓練を受けた卒業生が多く含まれていたことは、県としても非常に頼もしく感じているところです。

現在、我が国では、高度経済成長期から日本の社会基盤の形成を担ってきた、熟練した技能・技術を有する技術者の方々の大量退職時代を迎えております。こうした中で、これまでに形成された社会基盤の保守を担い、かつ、新しい社会基盤を形成していくために、熟練技術者から次世代を担う若い技術者への技術の継承が非常に重要な課題となっています。技術の進展、高度化に伴い、技術者に求められる資質も一層高いものとなっており、技術者には絶えず新しい知識を習得していく姿勢が求められておりますが、新しい技術を身につけるためにも、技術を基礎から体系的に習得することが必要です。

千葉県建築設備高等技術専門校は、昭和 60 年 3 月に知事の認定による職業訓練校として発足以来、785 名もの優秀な技術者を輩出してきた輝かしい実績を有しており、平成 2 年には優れた認定職業訓練施設として労働大臣表彰を受賞するなど、職業能力の開発、向上や若手技術者の育成、技術の継承に積極的に取り組まれております。

本専門校は、歴代の校長をはじめ豊富な知識と経験を有する講師陣の指導の下、各種資格の取得に力を入れる等により実践的な訓練を行い、本県産業を支える前途有為な人材の育成校として尽力されており、県といたしましても大いに期待しております。

入校を志す皆様には、本専門校で職業人として必要な知識と技術を十分身に付け、仕事を通じ企業や産業の発展に貢献されますよう、心から御活躍を祈念いたしております。

## ▶開校の目的

本校は、昭和60年3月に職業能力開発促進法 第24条の規定に基づき設立された千葉県知事認定の管工事関係団体の職業訓練施設で国家資格「給水装置工事主任技術者」並びに「管工事・土木施工管理技士」及びその他必要と認める管工事技術関係資格取得を目的として、本校協賛団体の構成事業所の後継者並びに従業員を対象に総合技術者を養成しているものであります。

## ▶訓練の概要

- \*訓練科名： 設備施工系配管科
- \*訓練期間： 平成24年4月より1年間
- \*訓練日： 火（毎週）土（第1・3週）
- \*訓練時間： 午前8：50～午後5：00
- \*入校資格： 本校協賛団体構成事業所の後継者・従業員  
※協賛団体構成事業所でなくても該当する事業所の推薦があれば入校可能です。

## ▶カリキュラム編成

当校では国家資格等の資格取得を第一の目的としており、国家試験受験日に照準を合わせたカリキュラム編成(土木編を除く)をしており、下記9編に分けて訓練を実施しております。また、各編終了時には当校独自の修了試験を実施しており、国家試験前の予備試験として好評を得ております。

基礎技術編

管工事編

主任技術者編

土木編

製図技術編

配水管工事編

排水設備編

安全衛生編

LPG設備編

## ▶訓練生の特典

- ①本校は経済産業省よりLPG設備士の養成施設校としての指定を受けており、在学中に当校において実施する授業を受講することにより、国家資格「LPG設備士」取得が可能。
- ②職業能力開発促進法第62条に規定する〔技能検定〕国家資格「建築配管技能士」取得に向けた特典として本校修了者は二級技能検定(建築配管)の学科試験免除。
- ③本校修了者は千葉県水道局の配水管工事施工の際に必要な「**不断水穿孔技能者**」として認められる。
- ④成績優秀者には、知事賞・千葉県水道局長賞・職業能力協会会長賞等が授与されます。

## 【訓練内容・時間・講師所属】（予定）

【編名】 総訓練時間(時限)	科目(訓練時間)	講師所属	
【基礎技術編】 36 時限	学力考査 (4)	専門校	
	上水道概論 (4)		
	配管施工法 1 (12)	元東京都水道局	
	配管施工法 2 (4)	塩化ビニル管継手協会	
	配管実技 (8)	元(株)リケン	
	基礎概論 (4)	教務主任	
【管工事編】 184 時限	設備原論 (32)	元雇用・能力開発機構	
	空気調和・換気 (24)		
	浄化槽 (4)	前澤化成工業(株)	
	設備に関する知識 (16)	元雇用・能力開発機構	
	施工管理 (24)		
	その他の法令 (4)		
	2級実地 (4)		
	総集仕上げ (8)		
	上水道、給水・給湯 (8)		
	水道法 (4)		
	下水道排水設備、通気 (8)	前澤化成工業(株)／TOTO(株)	
	消火設備 (4)	(株)荏原製作所	
	ガス設備 (8)	房総ガス協議会(東京ガス(株)／京葉ガス(株))	
	電気工学 (8)		
	建築学 (8)	元清水建設(株)	
	建築基準法 (4)	元千葉県建設局	
	下水道法 (4)	千葉県県土整備部下水道課	
	消防法 (4)	元千葉県消防局	
労働安全衛生法 (4)	元清水建設(株)		
労働基準法 (4)			
【主任技術者編】 48 時限	公衆衛生概論	(8)	元東京都水道局
	給水装置工事事務論		
	水道行政		
	給水装置施行管理法	(16)	
	給水装置の構造及び性能		
	給水装置の概要		
	給水装置工事法 (8)	千葉県水道局	
給水装置計画論 (16)	(株)環境技研コンサルタント		
【土木編】 56 時限	土木一般 (16)	(財)千葉県建設技術センター	
	専門土木 (8)		
	法規 (8)		
	共通工学 (8)		
	施工管理 (16)		
【製図技術編】 88 時限	積算 (16)	(株)環境技研コンサルタント	
	申請図・施工図 (48)	千葉県水道局	
	CAD (24)	オフィスピーぷる	
【配水管工編】 40 時限	穿孔実技 (16)	コスモ工機(株)	
	配水管工技能講習会 (24)	(社)日本水道協会	
【排水設備編】 8 時限	排水設備責任技術者 (8)	前澤化成工業(株)	
【安全衛生関係等資格編】 80 時限	地山の掘削及び土止め支保工 (24)	県管連講習	
	アーク溶接 (24)	コベルコ建機	
	車両系建機 (16)	コベルコ建機	
	職長・安全衛生責任者 (16)	県管連講習	
【LPG 設備士編】 88 時限	LPG 設備士 学科 (44)	ケーイージー	
	LPG 設備士 実技 (44)	元(株)リケン	

(第1号様式)

千葉県建築設備高等技術専門校  
平成24年度 入 校 願

平成 年 月 日

千葉県建築設備高等技術専門校  
校 長 様

申込み事業所

事業所名

所在地 〒□□□□-□□□□

代表者名

㊞

電話番号

F A X

第26期生として貴専門校へ下記の者を入校させたいので、書類を添えて申込みます。

入校希望者氏名	
現住所	〒□□□□-□□□□

申込事業所との関係（子弟、社員、その他）

所属団体（該当する所属団体に○印をつけて下さい。）

- 千葉県水道管工事協同組合  千葉県管工事業協同組合連合会  
 (社)千葉県浄化槽協会  (社)千葉県空調衛生工事業協会  
 その他

※その他に該当する方は、当校協賛団体の構成事業所より下記の推薦書が必要となります。

推 薦 書

千葉県建築設備高等技術専門校  
校 長 様

上記の申込み事業所を推薦しますので、入校資格を与えて下さるようお願い申し上げます。  
所属団体（該当する所属団体に○をつけて下さい。）

事業所名

所在地

代表者名

㊞

- 千葉県水道管工事協同組合  千葉県管工事業協同組合連合会  
 (社)千葉県浄化槽協会  (社)千葉県空調衛生工事業協会

㊞：裏面の履歴事項を記入して下さい。

㊞：入校の諾否後、提出書類及び授業料を添えて入校手続きをして下さい。

㊞：複数の入校希望者の場合は別途ご連絡下さい。

[提出書類] 写真(貼付含) 3枚ボラロイド不可

# 履 歴 書

よこ 3cm  
たて 3.5cm  
ポラロイド不可

氏名	ふりがな		世帯主名・ 本人との続柄		
	㊟ 性別 男 女 昭和・平成 年 月 日生 (満 才)				
本籍地	ふりがな				
現住所	ふりがな		TEL ( )		
	〒□□□□-□□□□				
最終学歴	学 校 名	学 科 又 は 課	所 在 地	卒 業 年 次	卒 業 ・ 卒 業 見 込 等 の 別
				H S 年 月	
職 歴	事 業 所 名	事 業 内 容	所 在 地	在 職 期 間	職 務 内 容
	(現在)		〒□□□□-□□□□  TEL FAX	自  至	
	(過去)			自 至	
	(過去)			自 至	
※ 雇用保険被 保険者番号			※ 雇用保険事 業所番号		
業 界 に 関 す る 免 許 資 格	年 月 日	事 項			
備 考					

- (注) この履歴書は万年筆又はボールペン（黒又は青）の楷書体で自筆し、年号は日本歴とする。  
学歴は最終学歴を記入し職歴は新しい順に記入すること。  
尚、免許、資格等の記入については当業界に於る免許資格のみとする。
- (注) ※印の雇用保険番号等については、加入していない場合は未加入と記入して下さい。

キ  
リ  
ト  
リ

# 卒業生からのメッセージ

第23期生  
行木竜彦さん



私は、この業界に入ったばかりのまだ右も左も分からない素人同然の状態でした。

こちらの専門学校で学ぶことにより、基礎から専門知識まで幅広く学ぶことができ、今では多くの資格も取ることが出来ました。

またこの専門学校を通じて、幅広く仲間が出来き、仕事に関係ない同業界の「仲間」が出来たということは私にとってかけがえのないものであり、社内だけの考え方だけでなく、社外の考え方にも耳を傾けるいい機会でした。

私はこの専門学校を通じて、知識・仲間等、多くのものをえることができ、これらは自社での仕事だけをしていては得られない私の大切な財産だとおもっています。

仕事と勉強の両立は大変ですが、機会があれば、初心者の方に限定せず多くの方に是非入学をお勧めします。

第24期生  
大川喜之さん



管工事業界で技術者となる為に必要な、給水装置工事主任技術者・管工事施工管理技士などの資格試験に高い合格率をほこる専門校のカリキュラムは、決して楽なものではなく会社の業務と勉強との両立にとっても大変だったことが思い出されます。

また、本当の基礎から資格試験対策に至るまでの幅広い授業を実践し親身になって対応して下さいました講師の方々や、同じ業界で働き共に一年間勉強に励んだクラスメートが大きな支えとなって一年間のカリキュラムを終えることが出来、在学中に資格も取得することができました。

管工事業の事を学ぶことの出来る本当に数少ない機関の一つである専門学校への入学はととても有意義な事であったと今は強く思っております。

第25期生  
富澤光祐さん



管工事業の技術者には、配管に関する技術はもちろんの事、その裏付けとなる理論的な専門知識が必要です。

こちらの専門学校では、基礎から各分野の専門知識までを、その分野のスペシャリストである講師の方々から教えて頂けるので、管工事施工管理技士などの資格試験対策に有利ですし、何より学んだ事を仕事にすぐに反映できました。

また、教室での授業だけでなく、工場見学などの課外授業や配管・穿孔などの実技授業もあるので、1年間楽しく学ぶ事ができました。

そして何より、この専門学校で得られたものは、千葉県内の同業者の方々との知り合い、色々な意見や情報を交換できた事です。

仲間として、今後も長く付き合っていこうと思っています。

## 授業風景



校舎 千葉県管工工会館



入学式



授業風景 4階教室

今年度は、ゲリラ豪雨を再現した逆流実験なども見学させて頂きました。



穿孔実技授業



課外研修



## 【 募 集 要 項 】

①募集人員	定員 40 名 注：30 名に達しない場合は開校しない場合がありますので、予めご了承ください。	⑤入校決定後の入校納付金等	○構成事業所 142,000 円
②応募資格	▶本校協賛団体の構成事業所及び構成事業所の推薦する事業所の後継者・従業員または来年 4 月までに入職予定者 ▶高等学校卒業者、または同等以上の学力を有する者 ▶平成 24 年度以降に管工事・土木施工管理技術検定試験を受験する方。		○その他の事業所 284,000 円 <<入校決定者一括前納制>>
③申込方法 必要書類	「入校願書」に必要事項を記入、写真 1 枚(よこ 3cm×たて 3.5cm)を添えて本校事務局へ提出ください(郵送可)		(注)入校納付金納付後に入校を辞退する場合は入校事務手数料・教材費(発注済の場合)を差し引いた額を返金することとなります。
④申込期限	平成 23 年 12 月 22 日(木)必着(定員に達しない場合平成 24 年 2 月中旬まで受付)		(注)入校後に要する費用(予定)
			○認定職業訓練生災害保険料 4,700 円
			○LPG 設備士 30,000 円(必修授業)
			○職長・安全衛生責任者 15,000 円
			○地山の掘削及び 土止め支保工作業主任者 16,500 円
			○アーク溶接 30,000 円
			○小型車両系建設機械運転 15,000 円
			○配水管工技能者 60,000 円

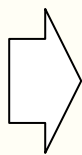
⑥申込・問合せ先	千葉県建築設備高等技術専門校(事務局：千葉県水道管工事協同組合) 〒260-0024 千葉市中央区中央港 2-5 TEL043-247-7373 FAX043-248-4484
----------	---

### 訓練生派遣事業主給付金制度

訓練生を派遣する事業主が受給出来る制度です。次の 4 項目を満たしていれば対象となります。

助成額  
約 60 万円

- ①訓練生が雇用保険の被保険者
- ②所定労働時間内に従業を受けさせ通常賃金を支払う事
- ③1 年間の訓練を修了する事
- ④事前に受給認定を受ける



- キャリア形成助成金制度(千葉県労働局)  
助成額  
賃金の日額×出席日数×1/3
- 建設教育訓練助成金制度(千葉県労働局)  
助成額  
4,400 円×出席日数

### 案内図



[交通機関]

- ①JR本千葉駅下車 徒歩 13 分(約 1.2 km)
- ②京成千葉中央駅下車 徒歩 15 分(約 1.5 km)
- ③JR千葉駅(東口)下車 バス乗車 15 分+徒歩 3 分(約 2.2 km)  
※11 番線・新港行乗車、卸団地会館下車
- ④JR京葉線千葉みなと駅下車 徒歩 13 分(約 1.3 km)

# 千葉県建築設備高等技術専門校

運営事務局

千葉県水道管工事協同組合  
千葉市中央区中央港 2-5  
TEL043-247-7373  
FAX043-248-4484

協賛団体

千葉県管工事業協同組合連合会  
社団法人千葉県浄化槽協会  
社団法人千葉県空調衛生工事業協会